



蔵元が投げかけた特産品焼酎。地産地消。地域貢献。。。その価値と意義は理解できる。しかし、現在の状況、仕込みの負担。二見は複雑な思いを率直に吐露した。奥村はその二見の思いを受け、優しく語った。

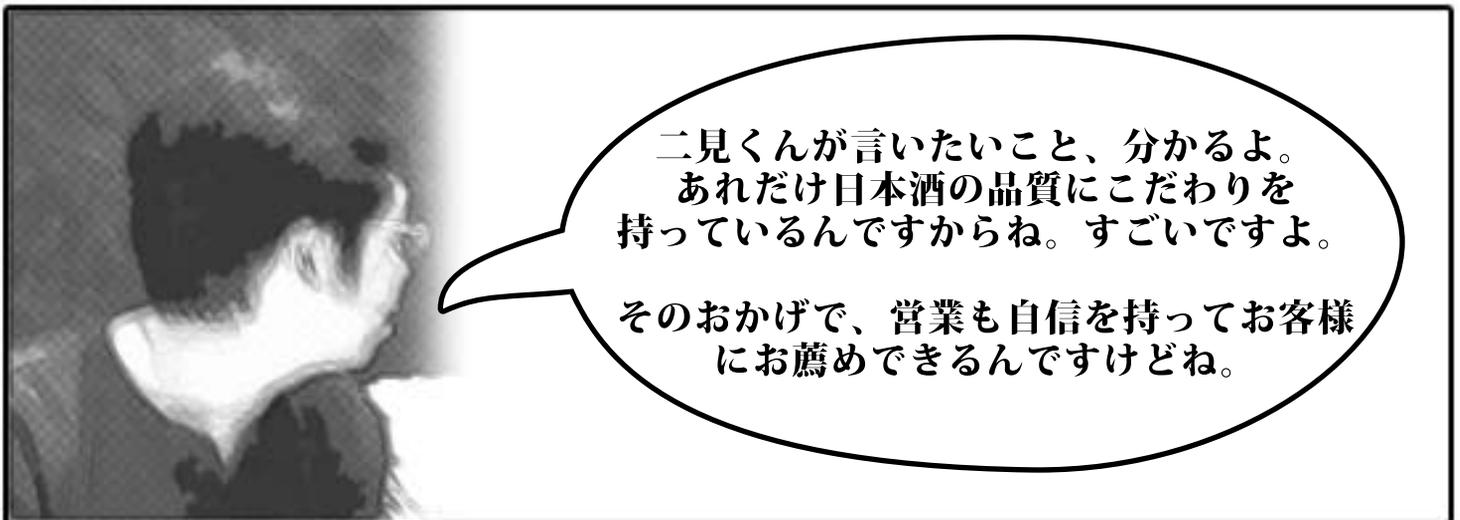


・・・  
ちよっといいですか？

非常に慎重で真面目な尾嶋。

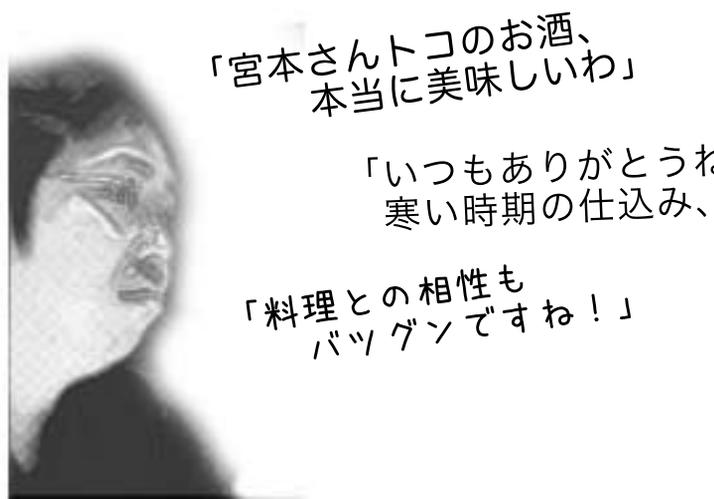
いつも誠心誠意、お客様のことを考え、蔵がお客様にどの様にお役に立てるのか。いつも彼の頭を巡っているテーマだ。

彼が口を開いた。。。



二見くんが言いたいこと、分かるよ。あれだけ日本酒の品質にこだわりを持っているんですからね。すごいですよ。

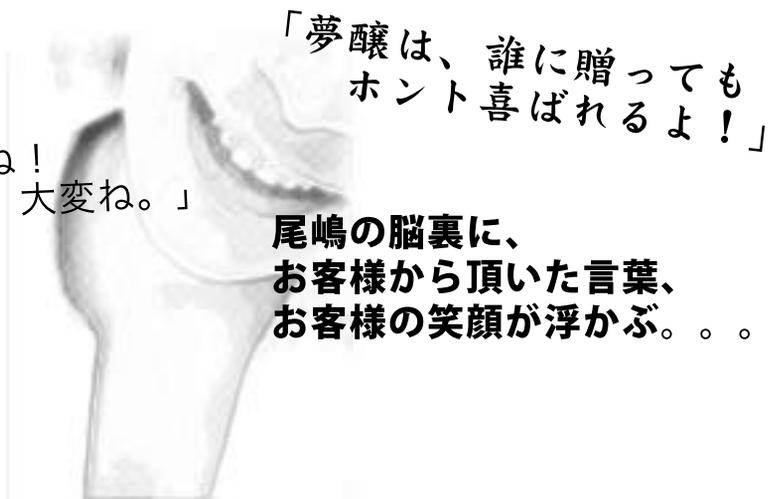
そのおかげで、営業も自信を持ってお客様にお薦めできるんですけどね。



「宮本さんトコのお酒、本当に美味しいわ」

「いつもありがとうね！寒い時期の仕込み、大変ね。」

「料理との相性もバツグンですね！」



「夢釀は、誰に贈ってもホント喜ばれるよ！」

尾嶋の脳裏に、お客様から頂いた言葉、お客様の笑顔が浮かぶ。。。



社長。。。  
実は、お話していなかったんですが、  
以前、営業について悩んでいた時期  
がありました。販売の方法とか・・・

その時、二見君に相談したんです。  
まあ、相談というより愚痴かもしれ  
ませんが。その時、二見君に言わ  
れたんです。

「尾嶋くん。前はそんな話じゃなく  
て、お客様にいかに喜んでいただ  
けるかという話ばかりしてなかつ  
たっけ？」 って。。。

で、気付いたんです。お客様に商品  
を売ろうとしてるって。。。

## お客様に商品を売ろうとしてるって。。。



お客様にお渡しするのは、“心”と“信用”ですよ。  
そして、商品は「笑顔のもと」。それがこの蔵の  
日本酒なんですよ。  
食事や笑顔と相性のいい日本酒。「名脇役の酒」。

二見君の品質にかける想いは、心そのものであり、  
信用の基の部分ですね。  
たかちゃんの接客や対応もそう。心と信用の要。

私はこの蔵と商品に自信と誇りを持っています。  
だから、お客様に堂々と心と信用をお渡しすれば  
いいんだなあって。そう、思いました。

ってことがあったよね！？  
二見君！

押し黙っていた時とは  
別人のように、爽やかに、  
熱く、尾嶋が語る。



# 名脇役の酒

信用

心

笑顔

# 心信用笑顔

そだよ。何を考えてるんだよ。オレは。。。



・・・みんな、申し訳ない。今、わかりました。  
オレは、日本酒の品質を守ることにとらわれすぎて、  
大事な「お客様」を見落としていたような気がします。  
「心」「信用」「笑顔」。尾嶋君、ガツンと響いたわ。

いつもお客様の笑顔を考えてながら、仕込みはしている。  
でも、今話している自分の感覚は、自分やお酒が主役  
になっていたのかもしれない・・・。  
自分が醸すのは「名脇役の酒」。

まずは、お客様にとって何が有益か。喜ばれるか。。。  
地産地消。地元の方々にとっては有益。新しい笑顔の  
輪が生まれるかもしれない。。。なのに、オレは、、、

触発された二見が語る。。。



社長・・・

二見。全然間違っていない！それでいいんだよ！  
日本酒の品質確保は絶対なんだ！その上で何が  
できるかが、蔵のチカラなんじゃないかな？  
だから、間違いじゃない。  
そして、今自分でも言ったじゃないか。お客様の  
笑顔を考えて仕込んでいるって。素晴らしい  
事だよ。あの過酷な状況下で・・・。  
二見と酒造りができる、俺は本当に幸せな蔵元  
だと、再認識させられたよ！ありがとう！！

熱く、優しく、蔵元が想いを伝える。。。



なんて、素晴らしい  
スタッフ達なんだ。  
二見・尾嶋・奥村  
蔵の宝だ。。。



社長。  
・・・  
社長っ！  
今、考え事して  
なかったですか？  
仕切りなおして、  
最初からもう一度  
話し合い  
ましょ！



ごめん。ごめん。  
いやあ、みんなの言葉が  
嬉しくてさあ。。。  
感動しちゃったよ。  
そうだね。もう一度、  
経緯を含めて、話すね！

ここの蔵元は、誰に対しても  
自分の想ったことは、隠す  
ことなく、照れることなく、  
上手に話す。。  
それがこの蔵の持ち味でも  
ある、士気を生んでいるの  
ではないかと思う。  
.....作者談

お客様に喜んで頂くには  
仕込みの時期としては  
この地域だからこそできること  
時間的な負担は俺が...  
販売先について...  
高品質が前提だ！  
だって、嬉しいでしょう？  
.....笑顔のために.....

**蔵、全スタッフ総意の下、  
本格加賀丸いも焼酎への本格的取組を決意。**



宮本酒造店の新たな挑戦が始まった.....

私が、この蔵が好きなのは、歴史や文化を大切にしつつも、新しいことにも  
物怖じせずに挑戦しようとする。そういう前向きな姿勢を共有している点。  
余談だが、私はROCKが好きだ。蔵でもROCKなにおいを感じることが  
ある。それは想いの熱さや強さなのだろうか。  
杜氏の二見氏からは、たまに演歌の香りもするが。。.....作者談



演歌って  
言うな！